

平成23年(2011年)3月期 決算

SPORTS ENTERTAINMENT
ROUND1

現況と今後の展望(業績説明会資料)



(ラウンドワン梅田店：大阪市北区)

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2011年5月11日

2011年3月期 連結決算の概要



		単位	2010年3月期 (2009.4~2010.3) 前期実績	2011年3月期 (2010.4~2011.3) 当期実績	増減
店 舗	期末店舗数	店舗数	105	109	+4
	期中店舗稼働月数	月数	1,201	1,275	+74

損 益 (P L)	ボウリング	億円	307	310	+2
	アミューズメント	億円	334	352	+18
	カラオケ	億円	60	67	+6
	スポッチャ	億円	89	87	2
	その他	億円	29	26	3
	総売上	億円	821	843	+21
	営業利益	億円	120	114	6
	経常利益	億円	78	69	9
	売上高経常利益率	%	9.6%	8.2%	1.4%
	当期純利益	億円	33	126	160

(億円未満は切り捨て表示)

当期純利益の計算式：経常利益69.2億円 - 特別損失272.8億円 + 法人税等による調整他76.7億円 = 当期純利益 126.7億円

特別損失の内訳：過年度の資産除去債務費用の全額(31.7億円)、出店計画変更損失(214.5億円)、出店形態の変更を含む減損損失(17.9億円)、災害損失(3.6億円)、固定資産(アミューズ基盤他)除却損(4.9億円)

2011年3月期 連結決算の分析



(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		2011年3月期 計画	2011年3月期 実績	差額	備考
損益	ポウリング売上	313.0	310.0	2.9	【経常利益の計画差の要因】 計画額 80.0億円 <ul style="list-style-type: none"> ・ 売上の減少 1.9億円 ・ 人件費の増加 2.5億円 ・ リース減価償却方法の変更 (定額法 定率法へ) 5.0億円 ・ その他 1.4億円 実績額 69.2億円 一部のリース資産の減価償却方法の変更を 本決算より適用しております。
	アミューズメント売上	351.0	352.2	+1.2	
	カラオケ売上	67.0	67.1	+0.1	
	スポッチャ売上	88.0	87.4	0.5	
	その他売上	26.0	26.1	+0.1	
	総売上	845.0	843.0	1.9	
	売上原価	697.0	710.3	+13.3	
	売上総利益	148.0	132.7	15.2	
	販売費及び一般管理費	18.0	18.5	+0.5	
	営業利益	130.0	114.1	15.8	
	営業外損益	50.0	64.6	14.6	
	経常利益	80.0	69.2	10.7	
	売上高経常利益率	9.5%	8.2%	1.3%	
	特別損益	265.0	272.8	7.8	
税引前当期純利益	185.0	203.5	18.5		
法人税等調整額	70.0	76.7	6.7		
当期純利益	115.0	126.7	11.7	【特別損益の内訳】 特別損失 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出店計画変更損失 214.5億円 ・ 出店形態の変更を含む減損損失 17.9億円 ・ 資産除去債務費用 31.7億円 ・ 災害損失 3.6億円 ・ 固定資産除却損 (アミューズ 基盤他) 4.9億円 	

2012年3月期 連結四半期 計画



2012年3月期 (2011年4月 ~ 2012年3月)

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1四半期 計画	第2四半期 計画	上期 計画	第3四半期 計画	第4四半期 計画	下期 計画	通期 計画
総売上	億円	213	230	444	205	230	436	880
売上原価	億円	177	188	365	187	185	372	737
売上総利益	億円	36	42	79	18	45	63	143
販管費	億円	4	4	9	4	4	9	18
営業利益	億円	31	38	70	13	41	54	125
営業外損益	億円	12	11	23	11	11	22	45
経常利益	億円	19	27	47	2	30	33	80
売上高経常利益率	%	8.9%	11.7%	10.6%	0.1%	13.0%	7.6%	9.1%
特別損益	億円	1	1	2	1	17	18	20
税引前当期(四半期)純利益	億円	18	26	45	1	13	15	60
法人税等調整額	億円	8	11	20	0	5	6	27
当期(四半期)純利益	億円	10	14	24	0	7	8	33

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
既存店前年比計画	%	+3.1	+1.0	+2.0	2.0	1.9	2.0	±0.0

- ・ 例年、第4四半期は年始営業と春休みの影響による来場者増により、業績が向上する傾向があります。
- ・ 特別損益の内訳は、アミューズメント基盤の除却等(約1億円/四半期)と第4四半期の減損損失(前期並みを概算計上)によるものです。
- ・ 既存店舗のセール・アンド・リースバックが成立した際は、損益に与える影響も含めて、随時開示する予定です。

2012年3月期 連結計画

出店と損益



(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画	増 減
店 舗	新規出店数	店	4	1	3
	総店舗数(期末)	店	109	110	+1
	総店舗稼働月数	月数	1,275	1,314	+39
損 益	ボウリング	億円	310	323	+12
	アミューズメント	億円	352	364	+11
	カラオケ	億円	67	75	+7
	スポッチャ	億円	87	88	+0
	その他	億円	26	30	+3
	総売上	億円	843	880	+36
	営業利益	億円	114	125	+10
	経常利益	億円	69	80	+10
売上高経常利益率	%	8.2%	9.1%	+0.9%	
当期純利益	億円	126	33	+159	

(注)2012年3月期計画には、以下の特別損失を織り込んでおります。

16億円 … 既存店舗を含む出店形態の変更に伴う減損損失

4億円 … アミューズキット(基盤)の除却損失(毎期発生するものです。金額は前期実績を考慮して計上)

2012年3月期の新規出店…「岐阜店」(岐阜県本巣市三橋 モレラ岐阜内)

2012年3月期 連結計画

キャッシュ・フロー



(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画
資金	当期純利益	億円	126	33
	法人税等調整額	億円	76	27
	配当金額	億円	17	20
	増資(新株予約権付社債による株式転換を含む)	億円	81	
	減価償却費(リース取引除く)	億円	93	80
	簡易キャッシュフロー	億円	45	120
	設備投資額	億円	61	20
	既存店舗の売却に伴う資金の増加	億円		48
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	106	148
	現預金残高	億円	227	259
	有利子負債残高	億円	1,361	1,245
	実質有利子負債残高	億円	1,133	986

2012年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約 2億円 …… 梅田店(2011年3月にオープンしましたが、支払いは2011年4月となりました。)
 - ・約 8億円 …… 千日前店(大阪市中央区難波:2012年春頃オープン予定)
 - ・約10億円 …… 既存店舗(一部の改装やアミューズメント基盤(キット)購入他)
- 町田店を含めたセールアンドリースバックによるものです。

店舗数・損益状況と既存店売上前年比の推移(連結)



店舗・損益の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110

(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	880億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	125億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	80億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	9.1%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	126億円	33億円

(注)2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載)。

既存店売上前年比の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	6.5%	4.0%	3.7%	0.2%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	6.8%	10.8%	9.8%	+0.0%	1.1%
カラオケ	4.5%	+4.0%	1.2%	7.3%	13.1%	+3.4%	+5.9%
スポッチャ	-	-	16.1%	9.8%	9.2%	4.5%	+0.6%
その他	11.3%	9.2%	+13.2%	+11.4%	3.9%	14.5%	1.0%
総売上	+11.6%	+2.0%	4.0%	8.5%	7.7%	2.2%	±0.0%

(注)既存店売上前年比推移には、米国内の1店舗は含まれておりません。

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)



既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 予定	2013年3月期 予定	2014年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約271億円	約142億円	約227億円
対応状況	全額借り換え済	全額借り換え済	全額借り換え済	既存借入先及び主力取引行を中心に交渉中	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) 上記借り換え額は、当社グループ全体の金額です(連結子会社を含む)。

2012年3月期の借り換え額(271億円)のうち、既に約60億円については金融機関等と合意しております。

2014年3月期の借り換え額(227億円)には、メインバンクである三井住友銀行が組成し、その大部分の融資を実行したシンジケート・ローン(約162億円)を含んでおります。

資産等の推移

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,418億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	803億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	33.2%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	259億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,245億円
実質有利子負債残高	651億円	755億円	963億円	1,080億円	1,133億円	986億円

リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	270億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円	82億円

(注) 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、

保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

2012年3月期計画は、開示済みのものを除き、既存店舗のセールアンドリースバックを行わなかった場合の額を記載しております。

2012年3月期計画の保証債務(82億円)は、2012年春オープン予定の千日前店(大阪市中央区難波)のオープンに伴って無くなる予定です。

BS: 有利子負債の削減

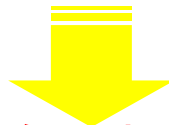
セールアンドリースバックの活用

既存の店舗資産（土地・建物）を売却と同時に賃借へ切り替える方法を活用

有利子負債返済額	年間	200億円前後
約定返済額	年間	100億円前後

（減価償却費相当）

合計300億円前後の年間返済



概ね向こう5年(2016年3月末)までに実質無借金体制へ

売却損が発生した場合

デメリット

- ・会計上の特別損失が発生するため、当期純利益が減少する。（税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も）
- ・借入金返済時に、手元資金の流出を伴う可能性

メリット

- ・借入返済により賃借料（金利負担）が軽減され、店舗収支の改善により営業利益が増加

PL: 経常利益200億円へ向けて

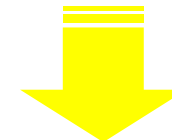
2016年3月期までに経常利益200億円体制

ファイナンスリース料が自動的に軽減

当社ではボウリングレーン、アミューズメント機器、加竹設備等をリース契約しております。これらのリース期間は、約3年（ボウリングのみ7年）で、期間経過後の再リース料は、約12分の1に低減されます。その結果、4年目（37ヵ月目）以降のリース料は、追加投資を考慮しても大きく低減され、スタジアム店舗で約1億円、スタンダード店舗で約9千万円の年間コストが自動削減されます。

賃借料（支払利息相当）の費用負担が軽減

各店舗の売上が現状と同水準で推移
繁華街店舗を含めた新店の収益



2016年3月までに早期の経常利益200億円体制を目指す

ボウリング

『ワンピース』とのコラボ企画

「がんばれ! ぼうりんぐ番長」

ネットワーク対戦で『ワンピース』のキャラクターの
選択が可能 (ラウポケメール会員登録者限定)

従来の番長キャラクターの選択も可能

ムーンライトストライクゲーム達成、施設2回来店プレゼント

『ワンピース』や『ハローキティ』のオリジナルグッズをプレゼント

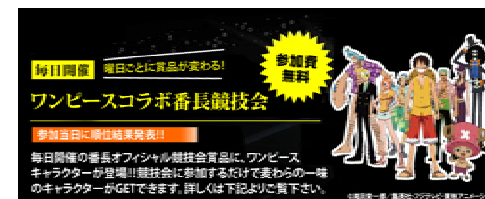
クラブ会員カード

『ワンピース』や『ハローキティ』とのコラボカードが登場



ネットワーク対戦ボウリング

カードホルダー数 約260万人 (2011年4月末現在)
引き続き5万~6万人強/月のペースで増加中



既存店舗対策



アミューズメント

『ワンピース』とのコラボ企画

オリジナル景品袋



メダルスペシャルパック

ボウリング・カラオケ・スポッチャのご利用後にメダルを借りると、ワンピースグッズをプレゼント

メダル大抽選会

2,000円以上のまとめ借りで抽選。ワンピースグッズやメダル増量が当たる。

新型機種を厳選導入

DRAGON BALL ZENKAI バトルロイヤル (バンダ 付) 他

カラオケ

『ワンピース』とのコラボ企画

ワンピースルーム

店舗毎に1ルーム～2ルームの内外装を改装



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

キラ キラ カラドル伝説

ワンピースのキャラクターが選択可能に



フリータイムプラン

『キラ キラ カラドル伝説』へのログインが無料に

スポッチャ他

ゲームコーナーの充実化

オンラインゲームの導入（フリープレイ）
新しいゲーム機の設置

コミックの充実化

新しいコミックを大量導入

テレビコマーシャル

スポッチャバージョンのCMに注力して放送

無料送迎バス

最寄り駅 店舗間を30分間隔で無料送迎
7店舗にテスト導入中

上尾店、朝霞店、宇都宮店、習志野店、入間店、
堺中央環状店、岡山妹尾店
移動広告としての宣伝効果



販売促進・広告宣伝

費用の削減

テレビコマーシャル、チラシ配布等の費用を半減化

メール会員制度『ラウポケ』

2011年4月末の登録者数 約140万人

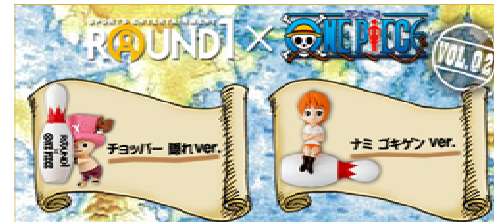
お得情報、割引クーポン、ショートゲーム等を配信
スマートフォンへの対応開始

テレビコマーシャル

ゴールデンタイムへの集中化を継続

『ワンピース』とのコラボ企画

『ワンピース』のキャラクターを積極的に活用
ボウリング、アミューズメント、カラオケ、スポッチャの
販促グッズに多用。
ストラップは半月毎に更新され、新しいキャラクターへ
(ハローキティも半月毎に更新)



©集英社一歩、集英社・フジテレビ・東映アニメーション



©集英社一歩、集英社・フジテレビ・東映アニメーション

東日本大震災の影響と節電への取り組み



東日本大震災の影響

東北・関東の店舗への影響

震災直後は19店舗の内装等が損傷したが、建物の躯体部分に大きな影響は無く、順次営業を再開
盛岡・仙台苦竹・福島・郡山の4店舗は比較的大きな影響

4月末より全店舗が通常営業

盛岡・仙台苦竹・福島・郡山の4店舗では、営業再開直後に被災者の皆様へ無料開放日を実施

節電への取り組み（東北電力・東京電力管内の41店舗が対象）

空調関係

空調の自動制御装置とデマンド監視（最大電力の監視装置）を導入
扇風機の設置
室内機・室外機・フィルターの清掃頻度を増やす

照明関係

LED電球や消費電力の少ない電球へ交換
ゲーム機の照明を節電モードへ

その他の対策（一部店舗で実施）

照明の消灯（建物外部・宣伝用モニター・インスタビジョン・自動販売機・ゲーム機看板等）、店舗内照明の間引き、エスカレーターへの停止、エアコンオフタイムの導入等

対象店舗の消費電力を約15%～20%削減予定

今後の出店



2012年3月期オープン店舗

オープン時期	店舗名	店舗タイプ	ロケーション
2011年 秋頃	岐阜店	スタンダード	大型ショッピングモール『モレラ岐阜』内

『モレラ岐阜』は、2006年4月にオープンした 敷地面積約185,000m²・延床面積115,800m²・店舗数約240店舗の巨大ショッピングモールです。

2012年4月以降の計画店舗

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2012年 春頃	千日前店 (大阪市中央区難波 千日前通り沿い)	スタジアム(スポッチャ含む)・繁華街
2012年 春頃	東京23区内	スタンダード・ロードサイド (大型ショッピングビル内)
2012年 冬頃	池袋店 (池袋駅東口 サンシャイン60通り沿い)	スタンダード・繁華街

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・2012年4月以降の計画店舗については、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則として凍結して財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内や十分な収益が見込めるに物件に限り出店する可能性があります。

2012年3月期 全社売上計画と既存店前年比計画



全社売上計画

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1Q	第2Q	上半期	第3Q	第4Q	下半期	通期
		計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	億円	79	82	162	72	88	161	323
アミューズメント	億円	87	96	184	90	89	180	364
カラオケ	億円	18	19	38	18	18	37	75
スポッチャ	億円	21	23	45	18	24	43	88
その他	億円	7	7	15	7	7	15	30
総売上	億円	213	230	444	205	230	436	880

既存店売上前年比計画

(小数第2位を四捨五入)

	単位	第1Q	第2Q	上半期	第3Q	第4Q	下半期	通期
		計画	計画	計画	計画	計画	計画	計画
ボウリング	%	+3.0	+2.2	+2.6	3.1	2.8	2.9	0.2
アミューズメント	%	+2.0	1.4	+0.2	2.3	2.3	2.3	1.1
カラオケ	%	+12.6	+8.1	+10.2	+1.9	+1.7	+1.8	+5.9
スポッチャ	%	+2.5	+2.4	+2.5	+1.4	1.2	1.3	+0.6
その他	%	4.3	2.9	3.6	+2.0	+1.7	+1.8	1.0
総売上	%	+3.1	+1.0	+2.0	2.0	1.9	2.0	±0.0

店舗の状況



出退店の推移

	出店数	退店数	期末 総店舗数	期末総店舗数の内訳			
				スタンダード		スタジアム	
				繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド
～2004年3月期	45	4	41	7	34	-	-
2005年3月期	6	0	47	8	34	-	5
2006年3月期	11	0	58	8	34	-	16
2007年3月期	15	0	73	8	34	-	31
2008年3月期	11	a 1	83	8	34	-	41
2009年3月期	a 13	2	94	7	45	-	42
2010年3月期	11	0	105	7	55	-	43
2011年3月期	b 4	0	109	8	58	-	43
2012年3月期	1	0	110	8	59	-	43

a 2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に同じ場所に完全に建て替えを行い、リニューアルオープンしております。

b 2011年3月期の出店数4には、アメリカ・ロサンゼルス店舗を含んでおります。

エリア別店舗数(2011年4月末現在)

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	32	13	30	8	11	1	109
シェア	9.2%	3.7%	29.3%	11.9%	27.5%	7.3%	10.1%	1.0%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

- ・ docomo <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ Soft Bank <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ au <http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115